

緊急時対応カード <119通報>

1. 次の場合は直ちに救急車（119番）を呼び

- 意識障害：意識がない、もうろうとしている
- 呼吸停止・呼吸困難
- 頭痛：頭を強く打って嘔気・嘔吐がある時
- 頭痛：今まで経験したことのないような強い痛みがある時
- けいれんを起こしている時
- 激痛の持続するもの
- 多量の出血を伴うもの
- 大きな開放創をもつもの
- 広範囲の火傷を受けたもの
- 骨折の疑いがある時
- その他判断に迷う時には119番通報する

2. 「119番」をかけた時の電話対応について（含：火災）

火事ですか？ 救急ですか？	「救急です。」
住所はどちらになりますか？	「【 】市【 】番地【 】です。」 *住所と会場名を言う。
状況を教えてください。	「だれが（傷病者の名前）、いつ（時間）、どこで（施設名）、どうして（ケガ・病気の原因）、どうなった（傷病者の状態）」を伝える。
お使いの電話番号は？	「〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇」 *使用している電話番号を言う。
あなたのお名前は？	「〇〇です。」
どこへ行けばよいですか？	「〇〇へお願いします。」 「スタッフが誘導します。」
その他	救急車が到着するまでに、しておくべきことがあるかどうかを聞く。

※確認記載事項

- 【住所】
- 【会場名】
- 【AED設置場所】

3. 救急車を要請したら

- (1) 役割分担をして、傷病者の手当てと状況の現場の管理を行う。
- ①傷病者の手当て・観察
 - ②救急車の誘導
 - ③AEDの準備
 - ④緊急連絡先への連絡
 - ⑤会場責任者または競技責任者に連絡
- (2) 注意事項
- ①頸椎（首）のケガが疑われる場合、声をかけて意識を確認し、動かさずに救急車の到着を待つ。
 - ②嘔吐がある場合は身体を横にする。

4. 救急車が到着したら

- ①傷病者に行った手当ての内容を報告
- ②救急車には、傷病者についてよく知っている者、選手に対応するスタッフが同乗する。

5. 緊急対応が終わったら

「傷病・事故報告書」に傷病対応を記入し提出（救急車要請をした場合のみ）。